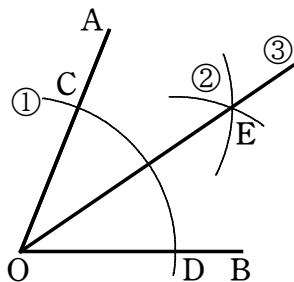
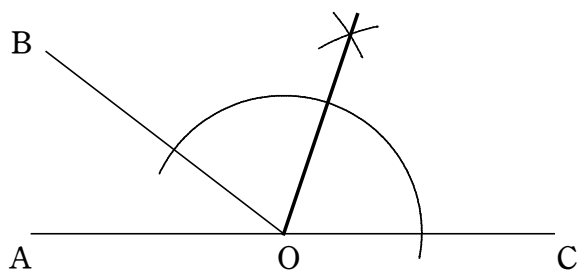
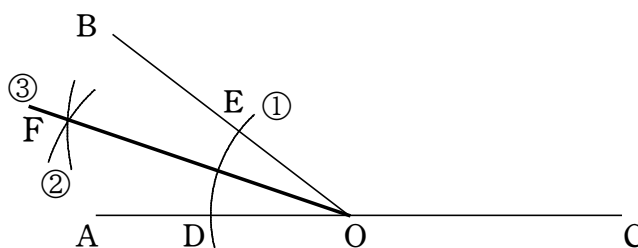


作図（角の二等分線①）

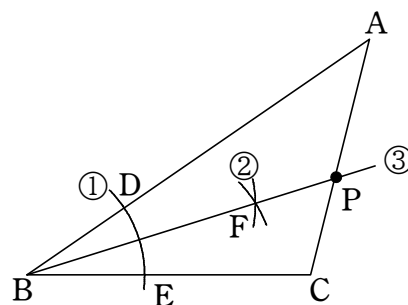
- 1 ① 点 O を中心とする適当な半径の円をかき、半直線 OA 、 OB との交点をそれぞれ C 、 D とする。
- ② 2点 C 、 D をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを E とする。
- ③ 半直線 OE をひく。



- 2 ① 点 O を中心とする適当な半径の円をかき、半直線 OA 、 OB との交点をそれぞれ D 、 E とする。
- ② 2点 D 、 E をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを F とする。
- ③ 半直線 OF をひくと、これが $\angle AOB$ の二等分線となる。
- ④ $\angle BOC$ についても同様に作図する。

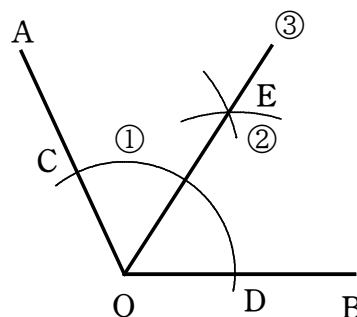
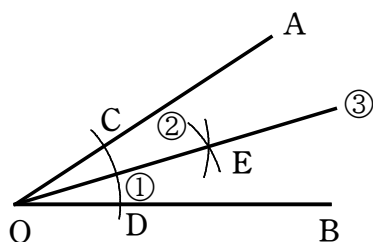


- 3 $\angle ABC$ の二等分線と辺 AC の交点が点 P となる。
- ① 点 B を中心とする適当な半径の円をかき、辺 AB 、 BC との交点をそれぞれ D 、 E とする。
- ② 2点 D 、 E をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを F とする。
- ③ 半直線 BF をひく。
 BF と辺 AC の交点が、点 P である。



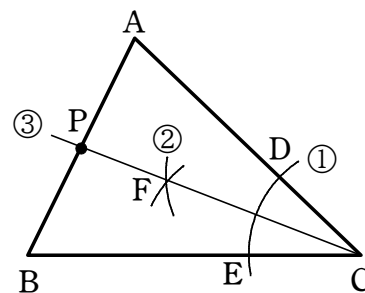
作図（角の二等分線②）

- 4 ① 点 O を中心とする適当な半径の円をかき、半直線 OA 、 OB との交点をそれぞれ C 、 D とする。
- ② 2点 C 、 D をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを E とする。
- ③ 半直線 OE をひく。
- このとき、半直線 OE は、 $\angle AOB$ の二等分線である。
- (1) (2)



- 5 $\angle ACB$ の二等分線上の点は、辺 AC 、 BC から等しい距離にある。

- ① 点 C を中心とする適当な半径の円をかき、辺 AC 、 BC との交点をそれぞれ D 、 E とする。
- ② 2点 D 、 E をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを F とする。
- ③ 半直線 CF をひく。
- このとき、辺 AB と半直線 CF の交点が P である。



- 6 $\angle ABC$ の二等分線を作図すればよい。

- ① 点 B を中心とする適当な半径の円をかき、辺 AB 、 BC との交点をそれぞれ D 、 E とする。
- ② 2点 D 、 E をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを F とする。
- ③ 半直線 BF をひく。
- このとき、半直線 BF が辺 AC と交わる点を G とすると、線分 BG が求める折り目の線である。

